

すずの郷新聞は
こうして作られる!!

すずの郷広報部は、各ユニット2名ずつの広報部員で構成されています。毎月末、その月の各ユニットの全ての写真を1枚ずつ全員で見て、新聞に載せる記事を決定しています。記事が決まるとその担当者、ご家族様や、入居者ご本人様に記事を書いていただきます。ご家族様には、記事を書いていただくことを快諾していただける方が多く感謝いたしております。今後も沢山の方と共にすずの郷新聞を作りたいと思っています。いつもご協力ありがとうございます。



すずの郷新聞アンケート
ご報告

先月、すずの郷新聞についてのアンケートを実施させていただきました。沢山の方からご回答いただき、広報部一同感謝しております。ご協力誠にありがとうございました。今回のすずの郷新聞は、皆さまからいただいたご意見の一部をご紹介します。新聞以外にも、すずの郷のホームページでは、毎月の外出、行事、日常の様子をすずの郷写真館として掲載しています。新聞に載っていない入居者さまの写真も沢山載っていますのでぜひご覧ください。またフェイスブックでは、ほぼリアルタイムで、すずの郷の様子を発信しています。こちら新聞とはまた違った面白さがありますので、ぜひ一度ご覧ください。

すずの郷



第68号

すずの郷新聞へのご意見

《今井たみ子様息子さまより》

いつも楽しく拝見しています。なかなか施設に行けませんが、施設のイベントや母の顔、様子が掲載されると元気でいると安心します。家族と母とのコミュニケーションとしてとても感謝しています。



《十時弘子様娘さまより》

いつも楽しく読ませて頂いています。毎月いろいろイベントがあるので、その様子が分かり有難い。自分の親がのっているとさらに嬉しく、楽しんでくれているのだと実感できます。



《水谷まゆみ様娘さまより》

新聞を通して職員の方と入居者の方の信頼関係や施設の温かい雰囲気が垣間見られ、母に寄り添っていただいている。家族としては、とても安心できます。職員の方のご苦勞を思い、いつも感謝しております。四季折々の行事やお年寄りの元気な姿を拝見できます事いつも楽しみにしています。



《橋本鈴子様娘さまより》

孫の結婚式に出席した母の記事を載せてもらい、記念になりとても嬉しかったです。行事であったり日々の施設の事など知らない事がわかるので、読んで楽しいです。



《山中千代一様奥さまより》

毎月楽しみに読ませていただいています。その人その人に合わせ、また季節に合わせて催しを企画していただき感謝しております。入居者皆様方の嬉しそうなお顔を見ると、生きていることは素晴らしいことだと思います。



《森文子様娘さまより》

色々な行事やお出掛けがあり、歳をとっても体が不自由でも健常者と同じように毎日を過ごす事ができ、私も歳をとったら、すずの郷で御世話になりたいです。



《蒲均様娘さまより》

毎月楽しみに拝見しております。すずの郷のお年寄り一人一人の日常である「今」がイキイキと写真や文章で伝わってきます。季節ごとにデザイン等も工夫されていて字やコメントも読みやすく、ホームページでは写真のみですが、新聞には沢山のスタッフのコメントも載せてあるので、イベントや旅行の内容や雰囲気が良く伝わってきます。



《浅井登志子様息子さまより》

各ユニットごとの集合写真やいろいろなサークル(体操・書道)の活動状況をもっと取り入れ、すずの郷の活動を知ってもらえる新聞にした方が良いと思います。比較的元気そうなお方々の写真が多いように思います。身動きの出来ない方たちが参加できたらいいなと思います。



《加藤博久様奥さまより》

身体の不自由な老人を旅行に連れて行かれるなんて思ってもいませんでした。みんな笑顔で言われる様子に感心しています。女性パワーにも驚きです。



《本田光江様娘さまより》

食事の内容(メニュー)やお風呂等、日常生活の様子等も取り入れてはいかかでしょうか。



アンケートまとめ

《今後のすずの郷新聞》

写真について...毎回写真を多めに掲載することを心がけております。今後はもっと臨場感溢れる新聞になるよう、写真は大きく掲載していきます。

記事について...食事について知りたいというご意見をたくさんいただきました。すずの郷では、食事やお風呂など日々の生活も楽しんでいただけるよう様々な取り組みをしていますので、今後、食事やお風呂の特集もさせていただきます。また、各サークルや委員会活動報告(レク委員会・業務改善委員会・排泄委員会)や、各ユニットの日常生活についても掲載し、できるだけ多くの入居者様に登場していただくよう努めてまいります。

たくさんのご意見ありがとうございました。すずの郷新聞は、皆様のおかげで、2011年11月より6年半も継続することができ、心より感謝申し上げます。

この度のアンケートでいただきました皆様からのご意見を心に受け止め、今後も皆様に愛される、楽しみにしていただける新聞を作り、入居者様の日常をお伝えしていきます。今後ともすずの郷の広報活動であるすずの郷新聞、ホームページ、フェイスブックを宜しくお願い致します。



大野秀康さん

すずの郷に入居され 1年が経ちました



ご夫婦の思い出のお店でランチ



ユニットのお花見もご夫婦で



スタバデート



4月21日、ご夫婦そろってランチへ行かれた大野秀康さん。昔、奥様と行かれたことのある思い出のお店です。いつもより沢山食べられ、大好物の杏仁豆腐も美味しく召し上がられていました。ご夫婦のデートの時間。最近では武光観光への参加も積極的にされ、いつも一緒に活動的な大野ご夫妻。今回は、入居されてからのことを奥様に振り返っていただきました。

すずの郷さんへ入居して、もうすぐ一年になろうとしています。本当は家で介護をしてやりたかったのですが、わたくし一人では介護の限度もあり娘たちと相談をして施設の入居を決めました。お父さんと結婚して46年。お父さん、覚えていますか？「70歳になっても二人で養老の山を登ろうな」と言っていたのを。まさかこんなことになるとは。

施設へ入ればもう外出はできないと思っていましたが、すずの郷さんは自由に外出もできますし、介護士さん、看護師さんは私どもの声に対してすぐに対応して下さる態度に感謝しております。以前は大きな声を出すだけの日々でしたが、すずの郷さんで過ごす毎日の生活の中で時々きちんとした言葉で返事をするようになりました。歌や野球が大好きなお父さん。私が口ずさんで歌うと穏やかな表情になります。スタッフの方が「大野さん、お父ちゃん、ビール飲む？」と声をかけてくださるととっても嬉しい顔になることもあり、こちら笑顔になります。一年半も治らなかった身体の湿疹も、すずの郷のお風呂にゆっくり浸かることですっかり良くなり本当に驚き皆さんに頭が下がります。

これからもあちらこちらに外出に連れて行って下さいますようによろしくお願い致します。
(奥様 大野みどり様)



武光観光ヤクルト工場見学

武光観光にもいつもご夫婦でご参加いただいています

武光観光 妻籠
入居して初めての遠出



篠原チミ子さん

好きな物を 食べることの大切さ

今回で
3回目の
静岡へ
お墓参り

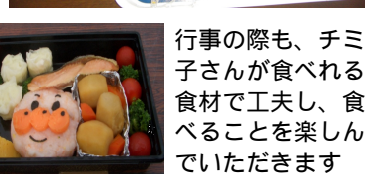


好物のマグロのお寿司を注文
嬉しそうな笑顔!!



チミ子さんの 日常

チミ子さんが笑顔になると
自然と私たちも笑顔に



行事の際も、チミ子さんが食べれる食材で工夫し、食べることを楽しんでいただきます



鹿児島へ 帰省

新幹線で故郷の
鹿児島へ



ご兄弟との20年ぶりの再会

突然「南妙法蓮華経と...」

すずの郷に入居され早いもので8年になりました。今から23年前、クローン病という病気を発病され、その後、硬膜下血腫を合併され失語症に。入居当初は10分くらいしか座ることができず、食べ物もエンシュアリキットという高カロリーの栄養ドリンクのみを生活を送ってられた篠原チミ子さん。すずの郷での生活にも慣れた頃、チミ子さんの「食べたい」という気持ちが分かり、それをなんとか叶えたいと、クローン病でも食べれるものはないかとユニットのみんなで話し合い、食事を始めることができました。だし巻きたまごを目の前にキラキラな瞳で頬張るチミ子さん。一緒に食事する私たちも嬉しくなりました。

6年前の70歳のお誕生日の日。生まれ故郷の鹿児島へ帰省することができました。20年ぶりのご兄弟の再会を果たし、お兄さん、お姉さんに抱きしめられ涙されるチミ子さんの姿に私たちも涙でカメラのレンズが濡れました。鹿児島の離島ねじめ島では亡きご両親のお墓参りもでき、お墓の前で手を合わせたチミ子さんが声を発せられたときは本当にビックリしました。「南妙法蓮華経～」それまでは失語症でチミ子さんは言葉がでないと思っていたからです。故郷の力、ご家族の力、チミ子さんのパワーを感じることができた素晴らしい旅となりました。それからチミ子さんは益々お元気になられ、月に一度のペースでご自宅へも帰られています。お誕生日に手作りケーキを作ったり、桜を見にいたり、日常の食事でもエンシュアと併用しながら、朝ご飯は好物のパンとスープと卵料理、そしてお昼ごはんもチミ子さんの食べれるように工夫をして食べて頂いています。大好物のマグロのお刺身を食べる時のチミ子さんは本当に笑顔です。食事をきっかけに日々を過ごしていく中で起きている時間も増え、トイレなどの思いもわかるようになり、息子様もビックリされてみえました。

先月はお主人のお墓参りへ息子さんと一緒に出掛けることが出来ました。静岡県の富士山のふもと、壮大な景色を見ながら片道3時間の道のりも起きていることができ私たちも驚きました。お墓の前では合掌され「南妙法蓮華経」としっかりとした言葉で唱えられました。お昼ご飯は大好物のマグロを注文され、お寿司を目の前に普段では見れない表情で、醤油もつけずにペロリと召し上がり、一人前のマグロづくし定食を完食されました。そんなチミ子さんに息子さんも「美味しいか？」と笑顔で言われ、皆、自然と笑みがこぼれる楽しいランチのひと時になりました。帰りの車でもしっかりと起きて見え、入居当時では考えられないことです。これからも自宅へ帰ったり、お墓参りへ行ったり、好物をお腹一杯食べたり、ご家族と過ごす時間を大切にすずの郷で楽しく生活していただきたいです。

(青山めぐみ)